

TOTO

洗面所暖房機

TYR1014BD型/TYR1024BD型

- 商品の機能が十分に発揮されるように、この設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 設置工事については、販売店または工事店様（電気工事が資格者）が実施してください。（お客様自身で取り付けないでください。）
- 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味		
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。	 一般禁止	
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	 分解禁止	
		 回転物注意	
		 必ず実行	
		 アース線を必ず接続せよ	

 警告	
 禁止	指定する電源以外では使用しない 火災、感電の原因になります。 TYR1014型：AC100V TYR1024型：単相AC200V
	ファンやヒーターにさわったり、物を差し込まない 感電、けが、やけどの原因になります。
	浴室など湿気の多いところには設置しない 火災・感電の原因になります。
	温風吹き出し方向に化粧台キャビネットや洗面所用ランドリーパイプなどの障害物を配置しない 火災、やけどの原因になります。
	電源線・電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない 電源線・電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。
 分解禁止	絶対に分解したり、修理、改造は行わない 火災、感電、けがの原因になります。

 警告	
 禁止	電源コンセントの差し込みがゆるいときや、電源コードプラグが傷んでいるときは、使用しない 火災、感電の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災、感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
	AC100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災、感電の原因になります。
	電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む 火災、感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	表面カバーを外しているときは、電源プラグを抜く 感電の原因になります。

 注意	
 回転物注意	運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない 回転による傷害の原因になります。
	機器の取り付けは、設置説明書に基づいて行う 商品質量に耐えるよう設置方法に従って取り付ける 本体落下による傷害の原因になります。
 必ず実行	取付ねじは最後まで締め込む 確実に固定しないと本体が落下してけがをしたり、破損する原因になります。
	設置するときは、手袋（軍手）を着用する けがの原因になります。
	壁や扉、他の電気製品に温風が直接当たらないようにする 変色、変形、故障の原因になります。

2. 取り付け前のご注意

本商品の機能を十分に発揮するため、必ず「7設置方法(1.本体取付位置決定)」に従って取り付けてください。

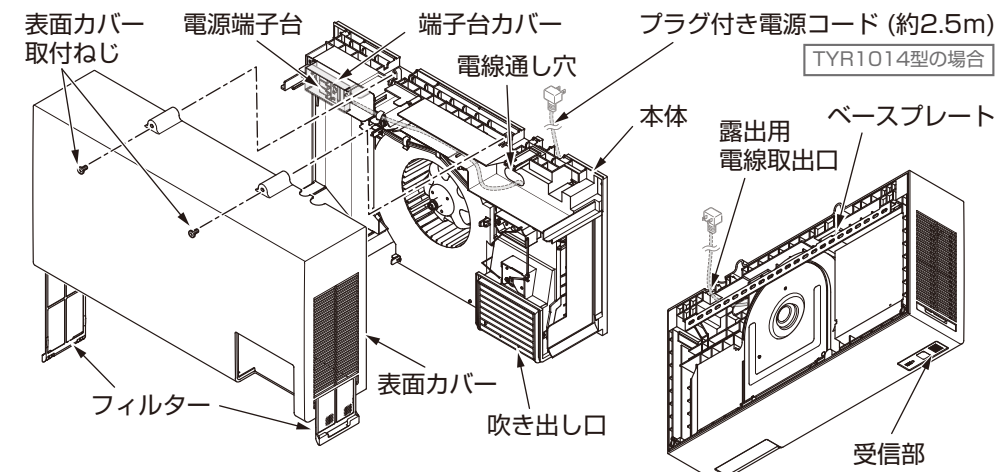
お知らせ	消防法 基準適合 組込形
本商品は平成14年消防庁告示第1号の基準に基づく社団法人 日本電機工業会が定める「組込形等電気機器の設置に関する自主基準(自主基準Ⅱ)」に適合しています。	可燃物からの離隔距離(cm)
洗面所暖房機の取り付けには、防災上の規制がある地域がありますので、不明な点は所轄の消防署など行政官庁にあらかじめご相談ください。	上方 側方 後方 下方
	0 0 0 0

警告

 必ず実行	《設計・設置上の確認項目》 ・分電盤に漏電遮断器を設ける 故障や漏電の際に、感電の原因になります。 ・機器容量にあった専用ブレーカーを取り付ける ・電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行う	
	《工事における注意項目》 ・電気工事は電気設備技術基準や内線規程に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う ・ねじ止め時は、インパクトドライバを使用しない ・電源線はφ2mmの単線（VVFケーブル）を使用し、確実に接続する ・より線は使用しない ・圧着端子の接続には、それぞれの端子に合った、JISに定められた専用圧着工具を使用する ・電源線は確実に接続、固定する また差し込み不足に注意する ・電源線を束ねたまま配線しない	
	《工事前の確認項目》 ・電気工事は必ず分電盤の洗面所暖房機用ブレーカーを切って行う ・電源電圧を間違えないように注意する ・電源線を束ねたまま配線しない ・電源線など、機器の配線は、発熱する器具(ダウンライト等)から離して設置する ・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属張りの木造建築に電源線等が貫通する場合は、電氣的に接触しないように取り付ける ・屋内配線はφ2mmの単線（VVFケーブル）を使用し、確実に接続する ・より線は使用しない 接続が不十分だと火災のおそれがあります。	
 アース線を必ず接続せよ	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事はお近くの工事店に依頼してください。	TYR1024型の場合
	電源線の接続は確実にを行う 不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。	
 必ず実行	電源線（VVFケーブル）は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む 差し込みが不十分だと火災の原因になります。	
	電源線はクランプで確実に固定する クランプで固定しない場合、電線接続部に負荷がかかり火災の原因になります。	
	必ず端子台カバーを取り付ける カバーを取り付けなかった場合、ほこりの蓄積などにより、火災の原因になります。	

- ・高温になる場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
- ・商品を洗面所以外の場所に取り付けしないでください。故障の原因になります。
- ・リモコンは浴室内には取り付けしないでください。故障の原因になります。
- ・本体設置工事と電気工事が異なる作業区分の場合、設置説明書(本書)および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡しください。
- ・工事の際に商品本体へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。
- ・TYR1014型の電源はAC100Vを接続してください。
200Vを接続すると基板が破損します。
AC100V仕様商品への200V印加による故障は、有償修理となります。
- ・TYR1024型の電源は単相AC200Vを接続してください。
AC100Vを印加すると本体運転ランプが「赤」点灯し作動しません。

3. 各部の名称

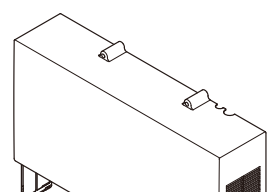
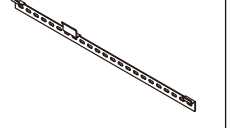


4. 現場手配品の確認

下記部品は現場にて手配してください。

タッピンねじ4×35（トラス、1種）	TOTO品番	TYHK102型	適量	本体に追加固定をする場合	
アンカープラグ			適量	本体取付ねじを間柱または補強木以外に取り付ける場合（壁材に合わせて手配）	
電源用電線	VVFケーブルφ2.0	適量	電気工事用		
アース線	銅線φ1.6以上	適量	アース工事用		TYR1024型の場合
アース棒		適量	アース工事用		

5. 同梱部品の確認（不足しているものがないか確認してください）

本体	ベースプレート	リモコン
 フィルター (2個) (1個)	 本体取付ねじ ステンレス製 φ4×35 ベースプレート取付用：3本 本体取付用：2本 (1個)	 単四乾電池(2本) リモコンホルダー 取付ねじ ステンレス製 φ4.1×16 (2本) リモコンホルダー (1個) 取扱説明書 (1部) 設置説明書(本書) (1部)

6. 外形寸法

	(単位：mm)
ねじ固定箇所	※ベースプレート固定用のねじは、少なくとも1カ所は間柱または補強木に固定する。 中央のねじ位置は、変更可能です。 ・型紙(本書裏面)で、壁開口・ねじ固定位置が確認できます。
商品質量	TYR1014型 5.3kg TYR1024型 5.2kg

1 本体取付位置決定

設置条件	壁面に本体取付可能な平たん部があること。また設置やメンテナンスを妨げる障害物がないこと。温風吹き出し方向に障害物がないこと。商品の側面と壁との距離を50mm以上あけること。
型紙の使いかた	本書裏面を以下のように合わせて使用してください 本書 下端 = 商品下端高さ 本書 中心線 = 商品中心 本書の下端を 商品下端高さに合わせる

2 フィルターと表面カバーの取り外し

- 表面カバーから、フィルター(2個)を取り外す。
- 表面カバー取付ねじ（2本）を取り外す。
- 本体から表面カバーを取り外す。

本体		(単位：mm)
リモコン		(単位：mm)

7. 設置方法

設置手順	TYR1024型のみ
1 本体取付位置決定	
2 取り外し	
3 フィルターと表面カバーの本体仮固定	
4-A 電源線の取り込み	電源線の取り込み
4-B 電源線の取り込み	電源線の取り込み
5 電気工事	
6 本体の固定	
7 取り付け	
8 リモコンの取り付け	

3 ベースプレートの取り付けと本体仮固定

- 水準器を当て水平レベルを確認しながら、ベースプレートのねじ固定位置(3カ所)をけがく。
ねじ1本あたりの引き抜き強度を1000N以上確保するために、間柱または補強木に必ず固定してください。
※間柱または補強木に固定できない箇所は、壁材に応じたアンカー(市販品)などを使って固定する。
※けがき位置は参考です。
- ベースプレートを本体取付ねじ（φ4×35、3本）で固定する。
※ねじ固定位置は参考です。
- TYR1014型のみ
本体裏面の電線通し穴から出ているプラグ付電源コードは、露出用電線取出口を通して、本体裏面から取り出しておく
- 本体をベースプレートに取り付ける。
※ベースプレートに本体が確実に取り付けられているか、本体右上の窓より確認する。

 注意	 禁止	本体仮固定は一時的な固定なので、仮固定のまま放置しない 本体が落下してけがをしたり、破損する原因になります。
---	--	---

3

ベースプレートの取り付けと本体仮固定

のつづき

(5) 水準器を当て水平レベルを確認しながら、本体取付ねじの固定位置(2カ所)をけがく。

※間柱または補強木に固定できない場合は、壁材に応じたアンカー(市販品)などを使って固定する。

TYR1014型の場合

6

本体固定

へ進んでください。

4-A

電源線の取り込み（壁埋め込み配線の場合）

TYR1024型の場合

(1) 壁の電源線取り出し可能領域※の内側に開口を行い、電源線（VVFケーブルφ2mm）およびアース線（φ1.6～2mm）を、壁開口まで配線する。

※ **6.外形寸法** 壁開口寸法・ねじ固定箇所 をご確認ください。

(2) 電源線およびアース線を、本体の電線通し穴より本体内に引き込む。

4-B

電源線の取り込み（露出配線の場合）

TYR1024型の場合

(1) 電源線（VVFケーブルφ2mm）およびアース線（φ1.6～2mm）を、本体裏面の露出用電線取出口および電線通し穴から本体内に引き込む。

5

電気工事

のつづき

・専用のブレーカー（20A）を取り付けてください。また漏電遮断器を取り付けてください。

・専用の漏電遮断器を取り付ける場合、15mA、動作時間0.1秒の高感度タイプのものをおすすめします。

・アースはD種接地工事を行ってください。

(3) 電源線およびアース線を本体のクランプで固定する。

警告

必ず実行

電源線はクランプで確実に固定する
クランプで固定しない場合、電源接続部に負荷がかかり火災の原因になります。

警告

必ず実行

電源・電圧を間違えないように注意する

警告

必ず実行

必ず端子台カバーを取り付ける
カバーを取り付けなかった場合、ほこりの蓄積などにより、火災の原因になります。

5

電気工事

(1) 端子台カバーを取り外す。

(2) 電源線（VVFケーブルφ2mm）およびアース線（φ1.6mm～φ2mm）を電源端子台に接続する。

重要

電源端子台への接続について

・各々の芯線が真っすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を「グツ」と奥まで確実に差し込む。

確実に差し込む

接続後、電源線の芯線が右図のように差し込まれていることを、再度目視で確認する

・電源線の芯線2本が均一になるように加工する。
(端子台の手前で均一になるように加工してください。)

端面を揃える

・端子台に芯線を奥まで真っすぐ挿入する。

・端子台の近くで大きく曲げない。
先端が十分に差し込まれない場合があります。

先端は絶対に曲げない

・電源線を外すときは、右記▼部を電工マイナスドライバーで強く押してください。

警告

必ず実行

電源線(VVFケーブル)は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
差し込みが不十分だと火災の原因になります。
また、端子台内部の発熱により端子台が故障し、本体運転ランプが「赤」点滅し、エラーとなる場合があります。
その場合は電源ブレーカーを切って、修理を依頼してください。

電源線はφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する
より線は使用しない
不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

8

リモコンの取り付け

リモコン取付位置

リモコン使用時はホルダーから外して行います。ホルダーを装着したまま使用の場合は確実に受信する位置に取り付けてください。
洗面所などの水が直接かからない位置に取り付けてください。

(1) リモコンホルダーを取付位置に合わせて、リモコンホルダー取付ねじ（φ4.1×16、2本）で壁に固定する。

(2) リモコンに電池を入れます。
電池交換の手順 をご確認ください。

(3) リモコンをリモコンホルダーに取り付けます。

電池交換の手順

①ふたを開ける
リモコンを裏面にする。
電池ふたの取付ねじをメダルなどでゆるめて、ふたを開ける。

②乾電池を入れる
リモコン内の乾電池の絵に合わせて入れる。
単4形乾電池（LR03 1.5V）を2本使用

③ふたを閉じる
元どおりに電池ふたを取り付け、ねじを締める。

注意

・電池の＋を間違えないでください。
・新旧・銘柄違いの電池を混用しないでください。
・充電式の乾電池は使用しないでください。
・長期間使用しないときは電池を取り出してください。
・電池交換時に電池ふた内部に水が入らないようにしてください。
・電池ふたのねじはしっかりと締めてください。

8. 試運転

設置が終わりましたら、再度結線などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。

※TYR1024型は電源を投入すると、自動で約30秒間ファンが動作します。
これは初期動作であり故障ではありません。

注意

回転物注意

運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない
回転による傷害の原因になります。

お願い

・試運転の前にフィルターに付着したほこり・ゴミなどを取り除いてください。
風量が少ない、騒音が大さいなど性能低下の原因となります。
・試運転の際は表面カバーを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因になります。

1

動作の確認

リモコンは必ず本体の受信部に向けて操作してください。
本体が受け付けると「ピッ」という受信音が鳴り、運転ランプ（緑）が点灯します。

(1) ドライヤー **リモコン**

ドライヤーを押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。
正を押して停止させる。

(2) 暖房 **リモコン**

暖房を押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。
正を押して停止させる。

(3) 涼風 **リモコン**

涼風を押して吹き出し口から風が出ていることを確認する。
正を押して停止させる。

(4) 暖房 **本体**

暖房入/切を押して吹き出し口から温風が出ていることを確認する。
暖房入/切を押して停止させる。

2

試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント
電源が入らない	本体に電源単相AC200Vを確実に接続していますか？ →確実に接続してください。 7.設置方法 5 電気工事 をご確認ください。 分電盤のブレーカーに電源線を確実に接続し、ブレーカーを「入」にしていますか？ →確実に接続し、ブレーカーを「入」にしてください。 電源プラグは、抜けていませんか？ →確実に差し込んでください。 TYR1024型の場合 分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか？ →ブレーカーを「入」にしてください。 TYR1014型の場合
異常音が出る	本体をしっかりと壁に取り付けていますか？ →しっかりと固定してください。 7.設置方法 6 本体の固定 をご確認ください。 ファンに異物などが詰まっていますか？ →異物を取り除いてください。 表面カバーが電線をかみ込んで浮いていませんか？ →内部の電線が表面カバーに当たらないよう整線し直してください。 ※スイッチを押したときに「カチッ」と音がするのはリレーの動作音です。故障ではありません。
本体の「運転ランプ」表示	「赤」が点灯 AC100Vが接続されていませんか？ →単相AC200Vを接続してください。 上記の処置を行い、電源ブレーカーを切り、60秒以上たってから、再度電源ブレーカーを入れてください。それでも直らない場合は運転を停止し、電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。 「赤」が1回点滅 電源接続が不十分なため温度ヒューズが溶断した可能性があります。 →電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。 「赤」が点灯 点灯

・ドライヤーや暖房運転の開始後、すぐには温風は出ません。
徐々に温度が上がっていきます。
運転停止後はヒーター冷却のため約20秒間ファンが動作し、その後停止します。

試運転のあとは

■工事店様へ
設置後は、同梱の「取扱説明書(保証書付)」をお客様にお渡ししてから、商品の使いかたとフィルターの着脱方法を説明してください。
取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。